

第58回シェイクスピア学会

2019年10月5日(土)／6日(日)

会場:鹿児島国際大学(鹿児島県鹿児島市坂之上8丁目34-1)

—10月5日(土)—

13:00 開会

14:00-17:00 研究発表

第1室

1. トマス・デッカーの『驚異の年』における死の表象
藤田 隆馬(立命館大学大学院博士課程後期課程)
2. ジョン・リリー『ガラテア』における女性同性愛の表象
松尾 江津子(鈴鹿工業高等専門学校准教授)
3. シェイクスピアと三人の魔女 - 視覚的受容の図像学
大島 久雄(九州大学大学院准教授)
4. 『マクベス』における恐怖の描出と五感
- 「感覚の饗宴」を手がかりとして
藤澤 博康(近畿大学教授)

第2室

1. 『オセロー』4幕3場における singing と unpinning
木村 明日香(中央大学助教)
2. “from his mad humour of love to a living humour of madness”
- ロザリンドの言葉による恋の治療、あるいは魔法
高根 広大(学習院大学助教)
3. ブルーム『アンティポディーズ』における旧世界と新世界
- マンデヴィルの危険な女たち
松田 幸子(高崎健康福祉大学准教授)
4. ベン・ジョンソン『ヴォルボーネ』におけるスコットの大道芸をめぐって
篠崎 実(千葉大学大学院教授)

第3室

1. ジョン・ドライデンの改作版『トロイラスとクレシダ』における
サーサイティーズの役割
伊澤 高志(立正大学准教授)
2. ニコラス・ロウ編集テキスト(1709年)とシェイクスピア・ビジネス
中野 春夫(学習院大学教授)
3. 『十二夜』と『シンペリン』における境界的身体とその衣服
高森 暁子(筑紫女学園大学准教授)
4. 【発表なし】

第4室

1. シェイクスピア作品におけるベネチア
土井 雅之(文教大学准教授)
2. 『背教者』におけるカトリック言説
- キリスト教徒のアイデンティティの回復と
イスラム世界からの脱却
石橋 敬太郎(岩手県立大学教授)
3. 19世紀後半～20世紀前半の再話物語と歴史教科書における
シュルーズベリーの戦いとハル王子の活躍
鈴木 辰一(岐阜市立女子短期大学講師)
4. アニメ・マンガ・コスプレのシェイクスピア
- 「シェイクスピア・ユーザー」になる
吉原 ゆかり(筑波大学准教授)

懇親会 17:20-18:50

—10月6日(日)—

10:00-12:30 パネル・ディスカッション

近代初期英文学と女性

司会・講師: 立命館大学教授 竹村 はるみ
講師: 立教大学教授 岩田 美喜
同志社大学准教授 塚田 雄一
東京女子大学教授 浜名 恵美

13:15-16:15 セミナー

セミナー1

シェイクスピアと法

コーディネイター: 五十嵐 博久(東洋大学教授)
メンバー: 団野 恵美子(大阪芸術大学教授)
千葉 治紫夏(ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校
講師)
中村 未樹(大阪大学教授)
森井 祐介(関西学院大学非常勤講師)

セミナー2

シェイクスピアと同時代(前後)の宗教と視覚文化

コーディネイター: 山本 真司(青山学院大学准教授)
メンバー: 井出 新(慶應義塾大学教授)
郷 健治(神奈川大学教授)
松田 美作子(成城大学教授)

セミナー3

「見る・観る」ことの多様性について - シェイクスピア劇を通して考える

コーディネイター: 丹羽 佐紀(鹿児島大学准教授)
メンバー: 江頭 史歩(九州大学大学院修士課程)
遠藤 玲奈(青山学院大学大学院博士後期課程)
冀 瑞澤(九州大学大学院修士課程)
熊谷 由里子(日本女子大学大学院後期博士
課程・職業能力開発総合大学校講師)
ザリンス マーティンス(九州大学大学院修士課程)
鷹野 みく(明治学院大学大学院博士前期課程)
童 知徹(九州大学大学院修士課程)
コメンテーター: 石原 万里(福島工業高等専門学校教授)

主催: 日本シェイクスピア協会 <http://www.s-sj.org/>

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学(超域)河合祥一郎研究室内

Fax 03-5454-4813 e-mail info@s-sj.org